因数分解 まとめ

因数分解の全パターンを整理してみよう。

① 共通因数でくくる

基本中の基本。
絶対はじめにチェックすること

例 $\boxed{4ab}\ \boxed{-3ab^2}\ \boxed{+2a^2b}$

登場人物チェックして。

$= 4ab - 3abb + 2aab$

$= \underbrace{ab}_{\text{共通因数}}\underbrace{(4 - 3b + 2a)}_{\text{残りカスを書く}}$

② 共通因数がなく、$\boxed{\bigcirc x^2 + \square x + \triangle}$ 展開の形になっているもの。

例 $x^2 + \underbrace{5}_{\text{たして}}x + \underbrace{4}_{\text{かけて}}$

たして 5
☆ かけて 4
} になるもの

4×1　$-4 \times (-1)$

$= (x + 4)(x + 1)$

かけて
たして

③ 共通因数がなく、$\boxed{\bigcirc x^2 + \square x + \triangle}$ 展開の形になっていて、

前の項と後ろの項が2乗の形になっているもの

$(\quad)^2$ のパッケージにほりこめる。

例 $x^2 + 12x + 36$

$= (x + 6)^2$

※ 必ずまん中チェックをして（$x \times 6 \times 2$）
まん中の項になるか見ること。